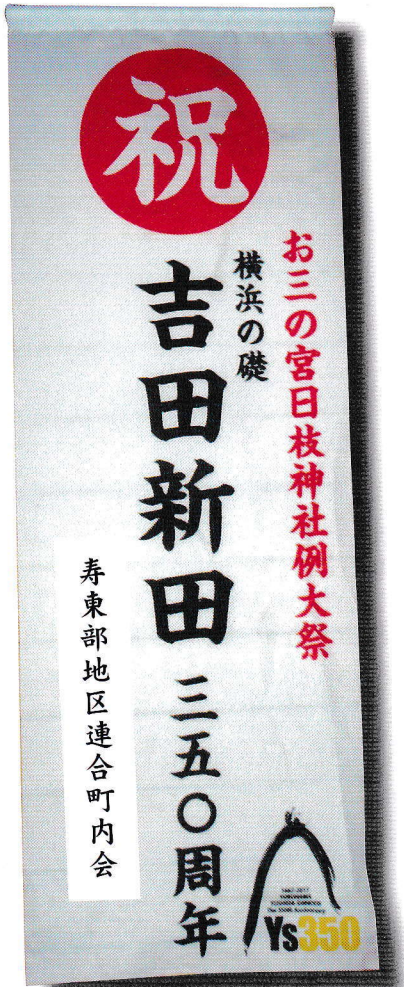


えん 寿東部地区 社会福祉協議会 広報誌 人

第8号
平成30年1月



お三の宮日枝神社大神輿寿東部地区の御巡行



共存共栄 寿東部地区社会福祉協議会会長 木村 雅一

寿東部地区の社会福祉協議会の活動については、寿東部連合町内会活動と表裏一体で進めております。

その柱となるのは、第3期南区地域福祉計画であり、その活動については、皆様のご協力のおかげで順調に推移しております。しかし、活動を進める中で、外国籍の人達との関わりが課題としてあります。少し前の話では、近隣の小学校の外国籍児童の割合は30%程度でありましたが、最近では50%を超えていると聞いております。当然居住者も、同じような状況かと思われれます。

最近の連合町内会の会合で、ある関係部門の責任者の方から、外国籍の人達の社協・町内会の各種活動について認知度が低いという話がありました。我々もただ腕をこまねいているだけではありません。地域ぐるみで一層活動のPRを進める必要があります。また一方、なじめない、或いはなじまなくとも生活できるという考え方も、一部あると聞いております。いずれにしても、時間の掛る問題であり、一朝一夕で解決できません。今後も、行政を含めて多くの機関の知恵と協力が要と思われれます。

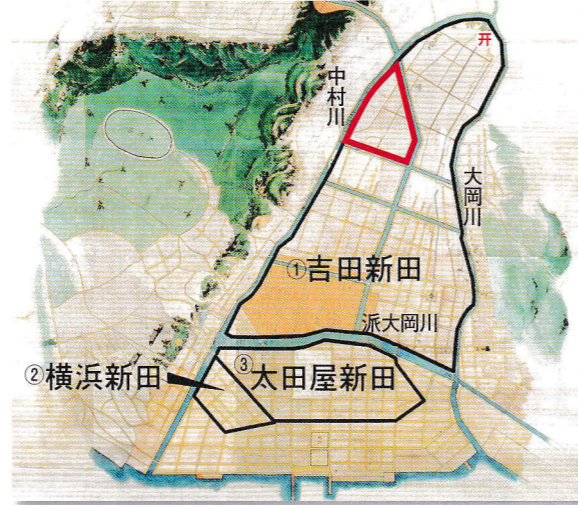
吉田新田完成350周年のお祭り

寿東部地区は、江戸時代初めまでは海が釣鐘の形に入り組んだ入江であった。その入江が、江戸で石材・木材商を営んでいた吉田勘兵衛により埋め立てられ、新田開発が行われた。幕府はその功績を称え、吉田姓にちなみ吉田新田と命名した。平成29（2017）年は、寛文7（1667）年に吉田新田が完成してから、350周年にあたる年なのである。



明治10年頃の吉田新田の様子
※赤枠で寿東部連合町内会地区を重ねてみました。
開はお三の宮日枝神社の位置

お三の宮日枝神社は、吉田新田完成後に新田住民の安寧幸福や五穀豊穡を祈り、吉田勘兵衛が江戸赤坂の日枝神社より御分霊を奉斎して創建したものである。吉田新田鎮守としてのお三の宮は、寿東部地区を含め新田各地区の氏子が例大祭に町内神輿の渡御を行い、「千貫神輿」とも呼ばれる神社大神輿の御巡行も行われる。



蓬萊町外七ヶ町埋立及び根岸堀割図
吉田興産株式会社提供
明治3年（1870）～同7年にかけて行われた堀割川「根岸堀割」の開鑿とその土砂によって（南一つ目沼）を埋め立て成立した「蓬萊町外七ヶ町」を描いた図面。

吉田新田完成までの苦労

吉田新田の開発工事は、江戸時代初めの明暦2（1656）年に着工された。しかし、翌年の大雨等により堤防が決壊して失敗した。その後、万治2（1659）年に工事が再会された。寛文7（1667）年にやっと完成し、中断を含め12年間を費やした。投入された私財は八千余両とも言われている。

また、この新田開発が難工事であったことから、「お三の宮人柱伝説」が生まれた。いずれにしても、この吉田新田完成により、現在の「関外」と呼ばれる地域ができて、安政6（1859）年の横浜開港の基盤ができたことは事実である。



横浜橋商店街での大神輿お出迎え



白妙二部町内会のお囃子

脳トレ in 真金



主催：真金町第一町内会

健康長寿地域を目指して

世界で第一位の長寿国日本、昨今は健康長寿が求められています。寝たきり予防、認知症予防、成人病予防と様々な対策が練られています。真金町第一町内会は、脳トレウォーキングを、真金町公園で始めました。毎月第二、第四の木曜、午前10時～11時半に行います。雨天は中止です。運動はしたいけど苦手と思っている方、一緒に軽く体を動かしましょう。自分に合う動きだけ、また、見学だけでも良いです。認知症予防になるかも。脳はストレスに弱いですが、軽い運動でストレス解消、脳の細胞を活性化する事が解っています。家族と仲間と楽しく続けましょう。近隣にお住まいの皆様のご参加をお待ちしています。



脳トレ体操がスタート



ラダー（梯子）を使って運動に励む

長寿大国日本、長寿だけど健康でない方も多。寝たきりにならないように無理ない運動が一番！

真金町公園に春が来た！

真金町公園愛護の活動

真金町公園愛護会は、公園から地域活動を発信しようという交流を行っています。近隣の小学校とは清掃活動やその後の紙飛行機作りなどを通して、公園の利用マナーの指導を行っています。二つの保育園とは種まきや花壇作りを行い、交流を深めつつ、公園花壇を花いっぱいにし、地域の方たちに喜ばれています。また、毎年4月の第一日曜日のお花見では真金囃子や獅子舞を取り入れて多世代の地域交流を行っています。



小規模多機能ホームの方々との交流

高根西町内には「みらいの家高根」という小規模多機能ホームがあります。その運営推進会議の委員として、高根西町内会々長及び民生委員が参加しています。町内会の行事ごとに声かけをして、ホームに入所している方々にも町内行事に可能な範囲で参加していただいています。

もちろん、ホームに入所している方々は介護を必要とする高齢の人達なので、お天気が悪かったり、暑す

ぎたり寒すぎたりしても、参加が難しいことが多いです。それでも、年の始めの「防災餅つき大会」から「バーベキュー大会」「寿東部盆踊り大会(陰祭りの時)」「町内会ミニ縁日」「お三宮日枝神社例大祭」「寿東部健民祭」毎月の「町内会カラオケ」など、数多くの町内行事の中で、参加が可能な時があれば来ていただき交流を図っています。(写真は、今年の町内会ミニ縁日の時のものです)



横浜市民防災センターに行ってきました

神奈川県横浜区沢渡にある防災センターは、2016年・4月1日にリニューアルオープンされました。

消火器や火災発生時の行動体験、シアターでの横浜に起こる災害体験もしました。また、3次元での振動で揺れや被害を体感出来る“地震シミュレーター”は、

参加者が災害時の恐ろしさを一番感じた体験だったようです。子どもも大人も楽しく学ぶ事が出来ました。

自らの身を守る為に、皆さんも防災センターで見学・体験をしてみませんか。



浦舟町西部町内会



永楽町内会

編集後記

私たちの街の守り神、お三の宮日枝神社例大祭が9月に挙行され、350年前吉田新田を完成させた先人の偉業に思いをはせました。この埋め立て地の上に築いた今日の街の繁栄は、そこに住む人々が町内会活動を通して得たふれあいの賜物です。

近年、この吉田新田地域に、急速に外国籍の方々が多く住むようになり、街のコミュニティに大きな変化が生じています。本誌が、町内会への加入促進、町内会活動への参加呼びかけなど外国籍の方々との交流の懸け橋になればと思います。

(浅野 正毅)

※表紙の大神輿の写真はタウンニュース社の提供です。

小規模多機能ホームの方々との交流

高根西町内には「みらいの家高根」という小規模多機能ホームがあります。その運営推進会議の委員として、高根西町内会々長及び民生委員が参加しています。町内会の行事ごとに声かけをして、ホームに入所している方々にも町内行事に可能な範囲で参加していただいています。

もちろん、ホームに入所している方々は介護を必要とする高齢の人達なので、お天気が悪かったり、暑す

ぎたり寒すぎたりしても、参加が難しいことが多いです。それでも、年の始めの「防災餅つき大会」から「バーベキュー大会」「寿東部盆踊り大会(陰祭りの時)」「町内会ミニ縁日」「お三宮日枝神社例大祭」「寿東部健民祭」毎月の「町内会カラオケ」など、数多くの町内行事の中で、参加が可能な時があれば来ていただき交流を図っています。(写真は、今年の町内会ミニ縁日の時のものです)



横浜市民防災センターに行ってきました

神奈川県横浜区沢渡にある防災センターは、2016年・4月1日にリニューアルオープンされました。

消火器や火災発生時の行動体験、シアターでの横浜に起こる災害体験もしました。また、3次元での振動で揺れや被害を体感出来る“地震シミュレーター”は、

参加者が災害時の恐ろしさを一番感じた体験だったようです。子どもも大人も楽しく学ぶ事が出来ました。

自らの身を守る為に、皆さんも防災センターで見学・体験をしてみませんか。



浦舟町西部町内会



永楽町内会

編集後記

私たちの街の守り神、お三の宮日枝神社例大祭が9月に挙行され、350年前吉田新田を完成させた先人の偉業に思いをはせました。この埋め立て地の上に築いた今日の街の繁栄は、そこに住む人々が町内会活動を通して得たふれあいの賜物です。

近年、この吉田新田地域に、急速に外国籍の方々が多く住むようになり、街のコミュニティに大きな変化が生じています。本誌が、町内会への加入促進、町内会活動への参加呼びかけなど外国籍の方々との交流の懸け橋になればと思います。

(浅野 正毅)

※表紙の大神輿の写真はタウンニュース社の提供です。